

事業事前評価表

国際協力機構民間連携事業部海外投融資第一課

1. 基本情報

- (1) 国名：ベトナム社会主義共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ベトナム全域
- (3) 案件名：女性中小零細事業者支援事業
- (4) 融資先名：Vietnam Prosperity Joint Stock Commercial Bank
- (5) L/A 調印日：2025 年 6 月 27 日

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における女性中小零細事業者セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ベトナム社会主義共和国（以下、「ベトナム」という。）では、中小零細事業者（Micro, Small and Medium Enterprise。以下、「MSME」という。）が全企業の97%以上、雇用の36%以上を占めており（ADB, 2023）、同国経済において重要な役割を担っている。ベトナム政府は、「社会経済開発10か年戦略」（2021年～2030年）において、「経済の工業化・近代化・再構築化」を掲げ、2030年までに200万社以上の企業が経済成長を牽引し、GDPの60～65%の割合を占めることを目標とし、中小企業・裾野産業開発政策を進めている。MSMEに関しては、2018年に施行した中小企業法に基づき、中小企業信用保証ファンド及び育成基金による融資並びに信用保証等を通じて金融アクセス改善に取り組んでいるが、依然としてMSMEはマーケットや許認可等ビジネスに必要な情報へのアクセス、土地利用権の確保、先進技術の活用に係る制約に加え、大企業と比較して相対的にリスクが高いこと、ガバナンスが未発達等の要因により、金融アクセスに課題がある。

MSMEのうち、女性により経営されているMSME（Women-owned MSME。以下、「WMSME」という。）は、ベトナムにおけるMSME全体の約20%と、男性が経営するMSMEと比較して少数であり、事業規模も小規模にとどまっている（ADB, 2023）。ベトナム政府は、「ジェンダー平等国家戦略」（2021年～2030年）において、2030年SDGs目標達成を念頭に、特別予算設置や法律策定を通じ、持続可能な経済発展のために政治・経済・文化・社会のあらゆる面でジェンダー平等を推進していくとし、女性が経営する企業の割合を2025年までに27%以上、2030年までに30%以上にすることを目標として、ジェンダー平等に取り組んでいる。WMSMEのビジネスが直面する最も大きな障壁の一つとして、担保不足等により、金融機関によるリスク認識が高くなる傾向にあることなどによる金融アクセスの制限が指摘されており（ADB, 2023）、WMSMEの金融アクセスの改善は喫緊の課題となっている。

またベトナムでは、資金使途を環境や社会課題の解決に資する事業に向け持続可能な社会を実現するための金融であるサステナブルファイナンスの促進が重要な課題である。東南アジア諸国では2017年、2018年に「ASEANグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド基準」が公表されて以降、各国でサステナブルファイナンス市場が大きく成長し、大手民間企業や金融機関を中心にサステナブルファイナンスに該当する資金調達が増加しているものの、ベトナムのサステナブルファイナンス関連制度は未発達であり、サステナブルファイナンスによる資金調達規模は周辺国であるタイ、マレーシア、インドネシア、フィリピンに比して大きく劣後している（NRI シンガポール, 2022）。一方、ベトナムではサステナブルファイナンスにかかる政策的枠組みは未だ未整備であるものの、ベトナム中央銀行であるベトナム国家銀行（State Bank of Vietnam）は、世銀グループの国際金融公社が2012年に発展途上国の中央銀行や金融機関の業界団体を中心に立ち上げた Sustainable Banking Network に加盟する等、サステナブルファイナンス促進に向けた取り組みが進められている。加えて、ベトナムにおいては、経済成長を支える上で、道路やエネルギー等に係るインフラ整備が急務となっているが、2040年までにインフラ投資ニーズとして約6,050億米ドルが見込まれるのに対し、1,020億米ドルの資金ギャップが推計されており（Global Infrastructure Outlook, 2024）、インフラ整備のためのファイナンスが必要となっている。

Vietnam Prosperity Joint Stock Commercial Bank（以下、「VPBank」という。）は、SME向けバンキング、消費者向けファイナンス、リテールバンキングの3分野を戦略分野とし、SME分野のなかでもWMSME向け商品やサービス開発に注力している。2021年度海外投融資「中小零細事業者向け女性金融包摂支援事業」では、同行に対し、MSME向け融資を実施し、同事業融資額の30%をWMSME向けとすることで、WMSMEの金融アクセス改善を図っている。同事業も活用し、同行のWMSME向け融資は、過去4年間、年平均約26%増加してきており、WMSMEの金融アクセス改善に向けて更なる資金需要が存在している。本事業は、VP Bankに対し、WMSME向け融資の更なる拡大のための長期融資を行うことにより、同国におけるWMSMEの金融アクセス改善を図るものであり、当該セクターの課題や同国政府の方針に合致する。また、本事業ではJICAの協調融資行であるFinDev Canada、Export Finance Australia (EFA)、British International Investment (BII)、三井住友銀行融資分はVPBankによる様々なサステナブル事業及びインフラ事業向け融資に充当され、ベトナムのサステナブルファイナンス及びインフラファイナンスに長期資金を供給し同国の成長を促進するものであり、同国の課題や政策方針に一致する。

（2） 当該国における女性中小零細事業者セクターに対する我が国及びJICA

の協力方針等と本事業の位置づけ

対ベトナム社会主義共和国国別開発協力方針（2017年12月）では、重点分野として「成長と競争力強化」が定められており、中小企業・裾野産業振興に取り組むとしている。また、JICA 国別分析ペーパーにおいても、ベトナム経済の持続的な発展には裾野産業における中小企業の育成が不可欠であると分析されている。本事業は、JICA グローバル・アジェンダ（課題別事業戦略）では、「民間セクター開発」及び「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」、クラスター事業戦略では女性の経済活動への参画推進を目的とする「ジェンダースマートビジネスの振興」に該当する。さらに、2018年6月のG7にてJICAを含む各国の開発金融機関により採択された「2X Challenge: Financing for Women」への貢献も期待され、本事業はこれら方針、分析及び戦略に合致する。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、ベトナムにおいて、VPBank への長期融資を行うことにより、同国における女性中小零細事業者向け金融アクセス改善を図り、以って持続的な経済成長に寄与するもの。

② 事業内容

JICA 融資分は VPBank の WMSME 向け融資に充当される予定。また、FinDev Canada の融資分（75 百万米ドル）のうち 40%（30 百万米ドル）は WMSME 向け融資、それ以外は WMSME 以外のサステナブル事業及びインフラ事業向け融資に充当される予定。

③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）：ベトナムの女性中小零細事業者

(2) 総事業費：350 百万米ドル（うち、JICA 融資額 100 百万米ドル）

(3) 事業実施スケジュール（協力期間）：2025 年 6 月～2030 年 6 月を予定

(4) 事業実施体制

借入人：VPBank

(5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

本事業は FinDev Canada、EFA、BII、三井住友銀行との協調融資。

(6) 環境社会配慮

①カテゴリ分類：C

②カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2022 年 1 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(7) 横断的事項：特になし。

(8) ジェンダー分類：【ジェンダー案件】 ■GI (P) (女性を主な裨益対象とする案件)

<分類理由>本事業は、ベトナムにおいて、WMSME は MSME 全体の約 20% と、男性が経営する MSME と比較して少数であり、事業規模も小規模にとどまっているというジェンダー課題に対し、WMSME 向け融資を資金用途とし、WMSME 向け融資残高及び融資件数を指標として設定するため。なお、本事業は、2X Challenge の要件 2: リーダーシップ (シニアマネジメント層の 30%以上が女性)、要件 3: 雇用 (45%以上の従業員が女性、かつ何らかの質的雇用要件を満たす)、及び要件 6: ポートフォリオ (30%以上の資金用途が 2X criteria を満たす) を満たすため、2X Challenge 認定を申請予定。

(9) その他特記事項：特になし。

4. 事業効果

(1) 定量的効果

1) アウトカム (運用・効果指標)

指標名	基準値 (2024 年)	目標値 (2029 年) LA 調印から 4 年後
WMSME 向け融資残高	16.0 兆ベトナムドン	28.2 兆ベトナムドン
WMSME 向け融資件数	22,676 件	39,915 件
本件 JICA 融資金を原資とする WMSME に対する借入人の融資実行額	0 米ドル	100 百万米ドル
本件 JICA 融資金を原資として実行される WMSME 向け融資件数	0 件	1,400 件

(2) 定性的効果

WMSME の事業拡大、所得向上、雇用促進。

5. 前提条件・外部条件

特になし。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

過去のマイクロファイナンス事業の事後評価 (評価年度: 2019 年) 等では、JICA が事業開始後に支援先の経営状況を適切に把握し、有償勘定技術支援を行ったことが、事業効果の向上につながったとの教訓を得ている。本事業開始後、VPBank に対する非金融的支援の可能性を検討する。

7. 評価結果

以上のとおり、本事業については、同国の開発課題、開発政策、及び我が国

の協力方針に合致しており、必要性が認められ、事業計画も適切でありその達成の見込みが十分であることから、海外投融資による支援の意義は高い。

8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる指標：4. のとおり。
- (2) 今後の評価スケジュール：
LA 調印から4年後 事後評価予定

以 上